

# 来週の『売り物』記事はこれ



2016年8月19日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## ブラジル移民 勝ち組負け組抗争の“真相”

21日(日)



南米大陸初の五輪が開かれているブラジルには第二次大戦終結後、日系移民同士が殺し合った不幸な歴史があります。日本語の新聞が廃刊されて正確な情報が途絶え、戦況の悪化を肌で感じられなかったブラジルで、日本の不敗を信じ続けた「勝ち組」と、敗戦を受け入れた「負け組」による通称「勝ち組負け組抗争」です。20人以上の命が奪われ、数十人が負傷しました。大戦中、連合国側のブラジルは日系移民を敵性国民として迫害し、戦後も差別しました。そうした不当な扱いが遠く離れた祖国への帰属意識を先鋭化させたのかもしれない。「戦争の勝ち負けが問題なのではなく、日の丸を汚されたり、皇室の尊厳を冒された」。日系社会の指導的存在だった陸軍退役大佐を射殺した日高德一さん(90)がブラジル・マリリアの自宅で事件の“真相”を語りました。



ブラジル移民船

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## 平和主義を訴えた首相夫人の原点

### 三木睦子さん 憲法9条への思い

夕刊特集ワイド 22日(月)



故三木武夫元首相の夫人、睦子さん(2012年に95歳で死去)＝写真＝は憲法改正に反対する「九条の会」呼びかけ人になり、晩年まで講演などに奔走しました。用意された椅子に座らずマイクに向かうほどの熱意でした。その徹底した「平和主義」の原点とは何だったのか。そして生きていたら、安保法制が敷かれ改憲も現実味を増す「今」を、どう語ったか——。海部俊樹元首相、小森陽一東大大学院教授らゆかりの人々とともに考えます。

## 盲導犬にできること

くらしナビA面 24日(水)

東京の地下鉄の駅で、盲導犬と一緒に歩いていた視覚障害者が線路に転落する悲しい死亡事故が起きました。視覚障害者の「目」となる盲導犬は、今回なぜ線路側を歩いていなかったのか、ホームに柱があつて進路を阻まれる場合に盲導犬はどう行動するか、そもそも盲導犬はどんな訓練を受け、何ができるようになって、何ができないのか。専門家に聞きました。



## かかりつけ薬局の挑戦

くらしナビA面 27日(土)



薬局のあるべき姿を実現しようと、長野県上田市の薬剤師たちが先駆的な取り組みを進めています。交代制で24時間対応し、一般用医薬品も数多くそろえる。処方箋に基づく調剤薬は配達も。学校薬剤師として、授業で喫煙の害について啓発する。独自の検査センターでプールの水質検査をして地域の環境衛生に貢献する——。見ならうべきことは何かを探ります。



読者投稿欄「女の気持ち」に掲載された投稿者を記者が訪ねる人気コーナー。今回は、山口市の大来静枝さん(67)宅を訪問します。障害者支援施設で月1回のボランティアに参加して10年。大来さんは自腹で購入した人形を使って、腹話術で入所者を楽しませています。長く続けているのは「祖母の後ろ姿を見てきたから」。祖母がどんな人だったのかも紹介します。



## 放送の自律を訴えて10年

### 政治とテレビ——BPOの課題

オピニオン面 [論点] 26日(金)



放送倫理・番組向上機構(BPO)が発足して10年目を迎えました。放送の問題を自主的に解決するため、NHKと民放が設立した組織です。取り巻く状況は年々厳しさを増しています。政治の放送への関与はある意味、露骨になり、BPOはそうした動きを、自律を脅かすとして批判してきました。放送を取り巻く課題などについてキャスターらに話を聞きました。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。